

「オンライン研修アンケート結果」

令和4年1月
一社) 兵庫県理学療法士会 資料調査部

1. 調査目的

資料調査部では、オンライン研修に関する現状把握と今後の必要性について調査することを目的に、令和3年8月~9月に兵庫県理学療法士会の会員に対して、オンライン研修に関するアンケート調査を実施しました。

2. 調査時期

令和3年8月20日から令和3年9月16日

3. 調査方法

ウェブによるアンケート

4. 回収結果

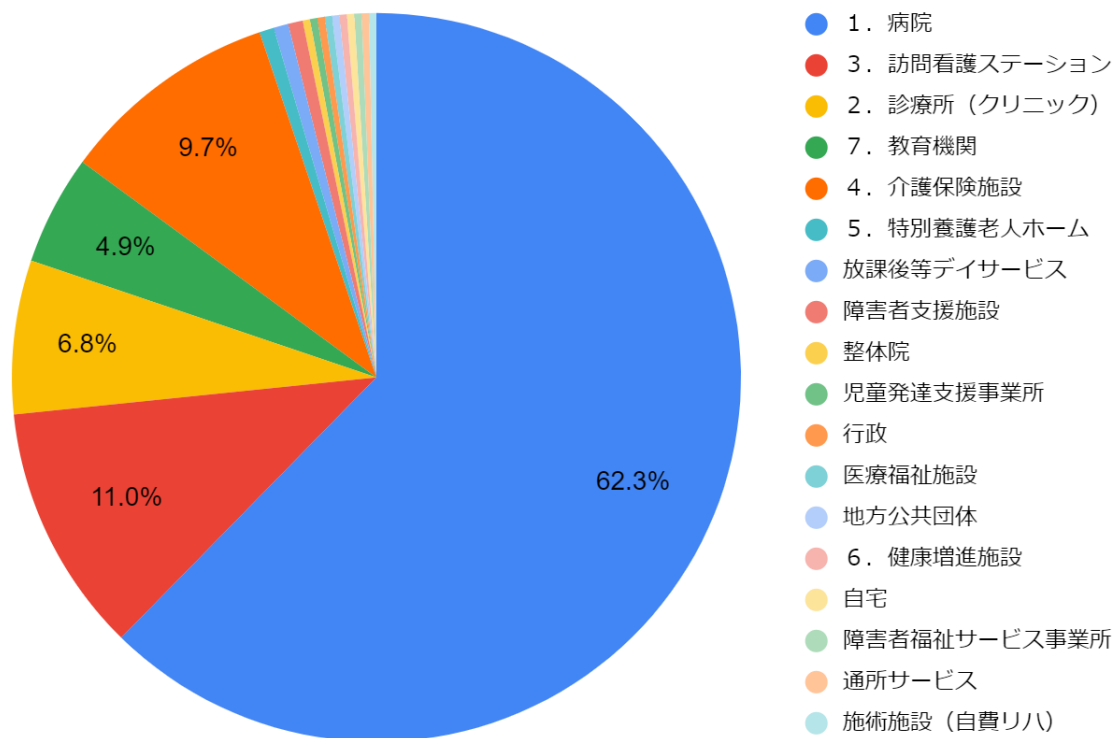
(1) 有効回収数 308人

(2) 調査不能数 0人

5. [調査票 \(PDF形式: 194KB\)](#)

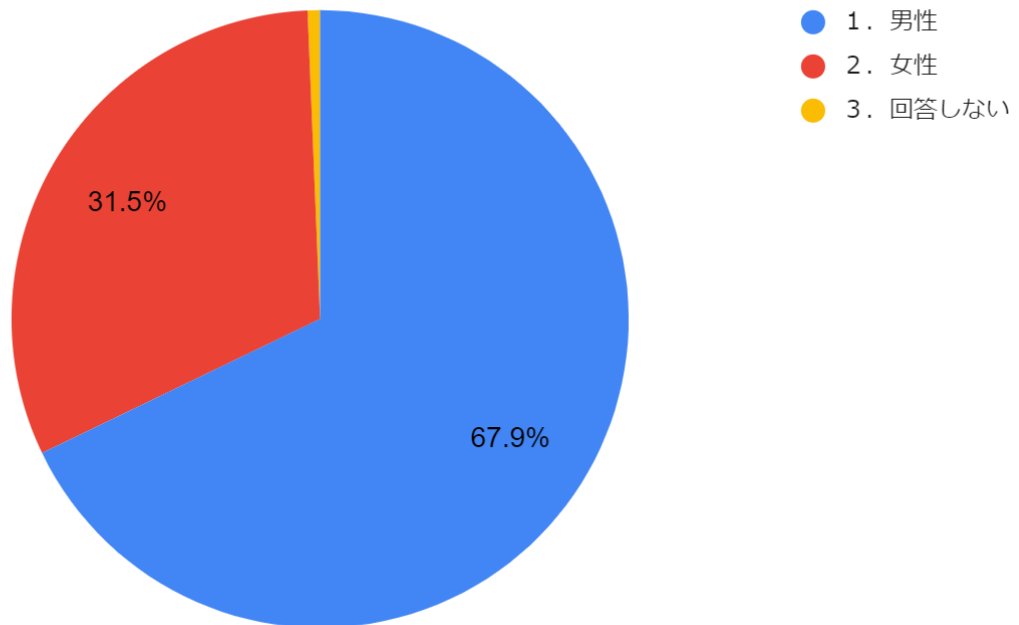
6. 集計結果

①所属機関 308件の回答



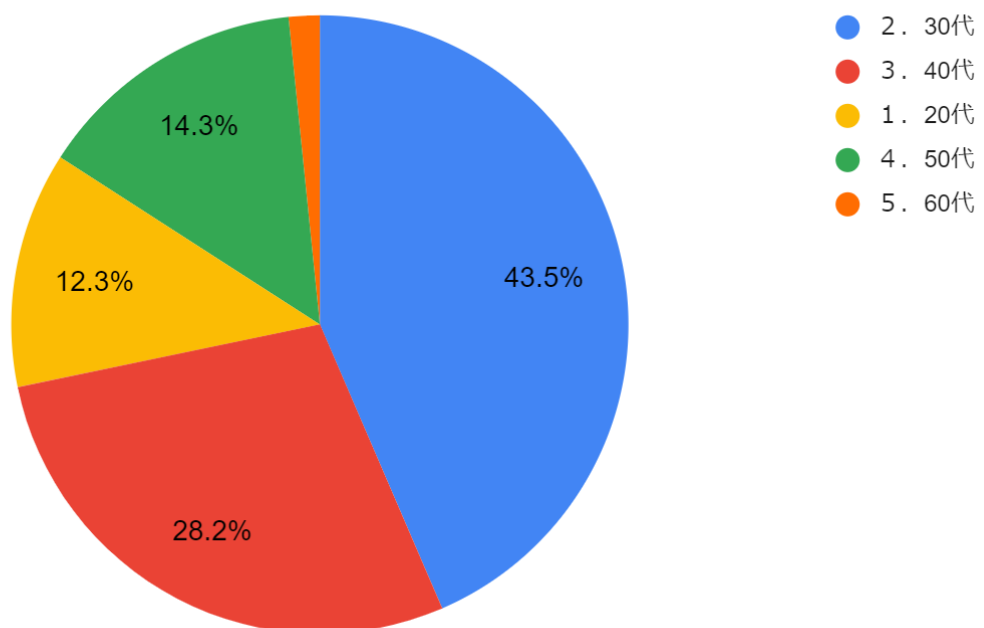
・「病院 62.3%」、「訪問看護ステーション 11.0%」、「介護保健施設9.7%」などの順となっている。

②性別 308件の回答



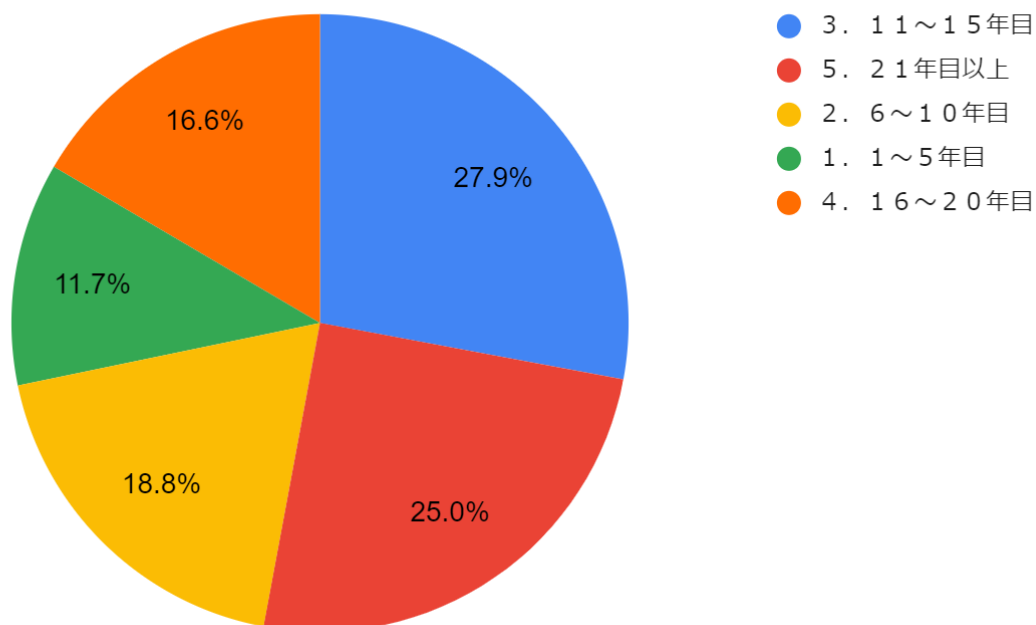
・「男性 67.9%」、「女性 31.5%」、「回答しない 0.6%」となっている。

③年齢 308件の回答



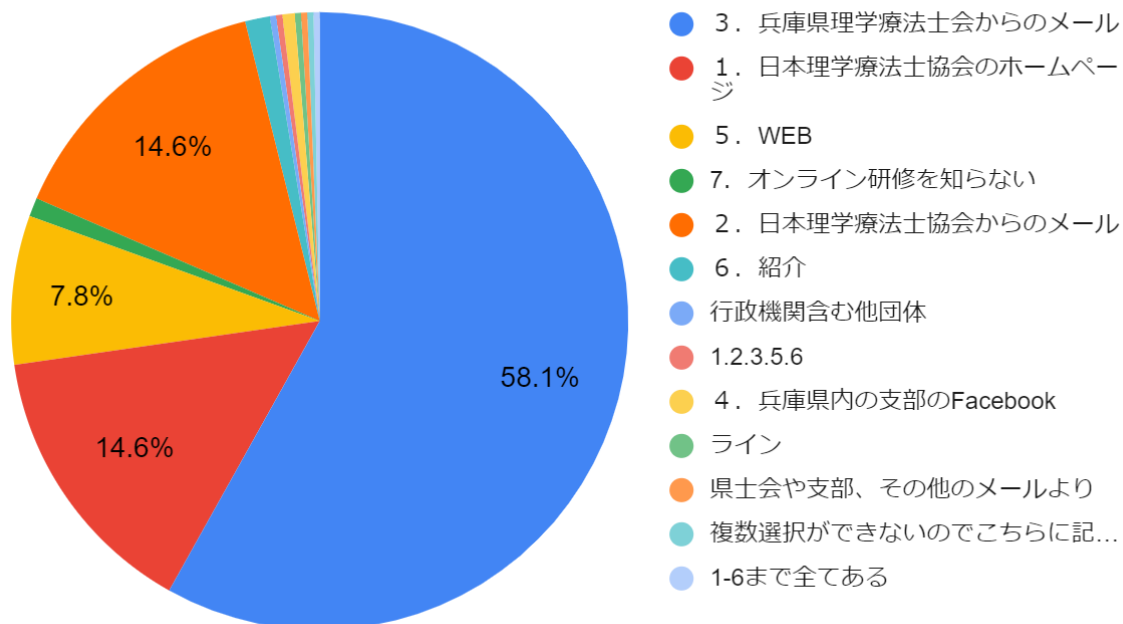
・「30代 43.5%」、「40代 28.2%」、「50代 14.3%」などの順となっている。

④経験年数 308件の回答



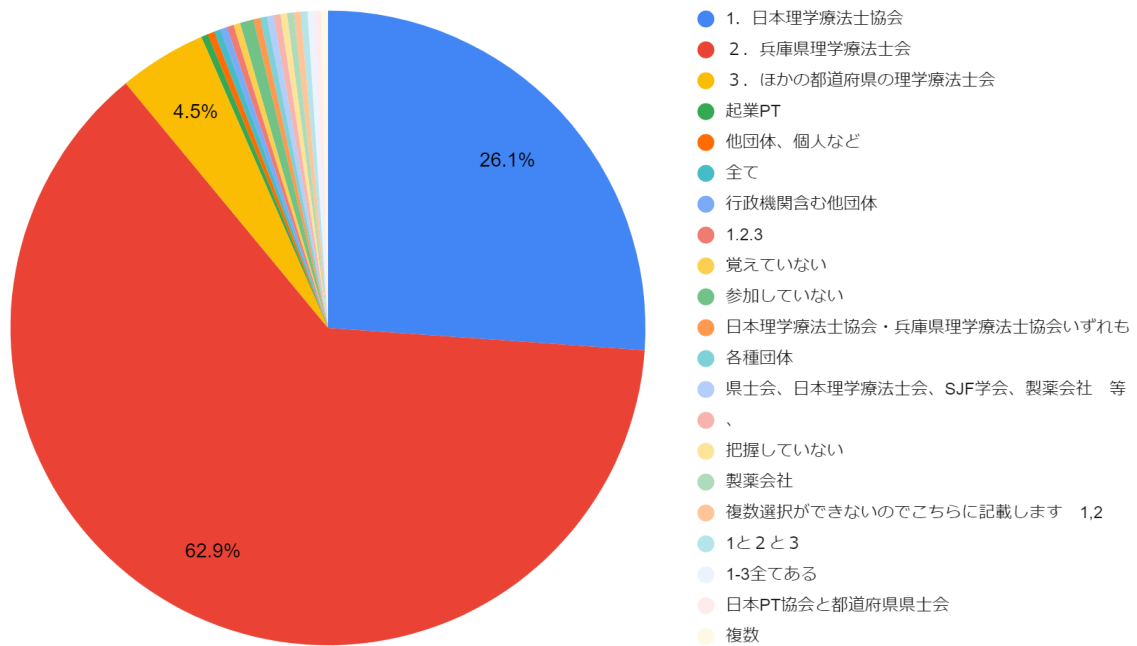
・「11～15年目 27.9%」、「21年目以上 25.0%」、「6～10年目 18.8%」などの順となっている。

⑤どのようなきっかけでオンライン研修を知りましたか 308件の回答



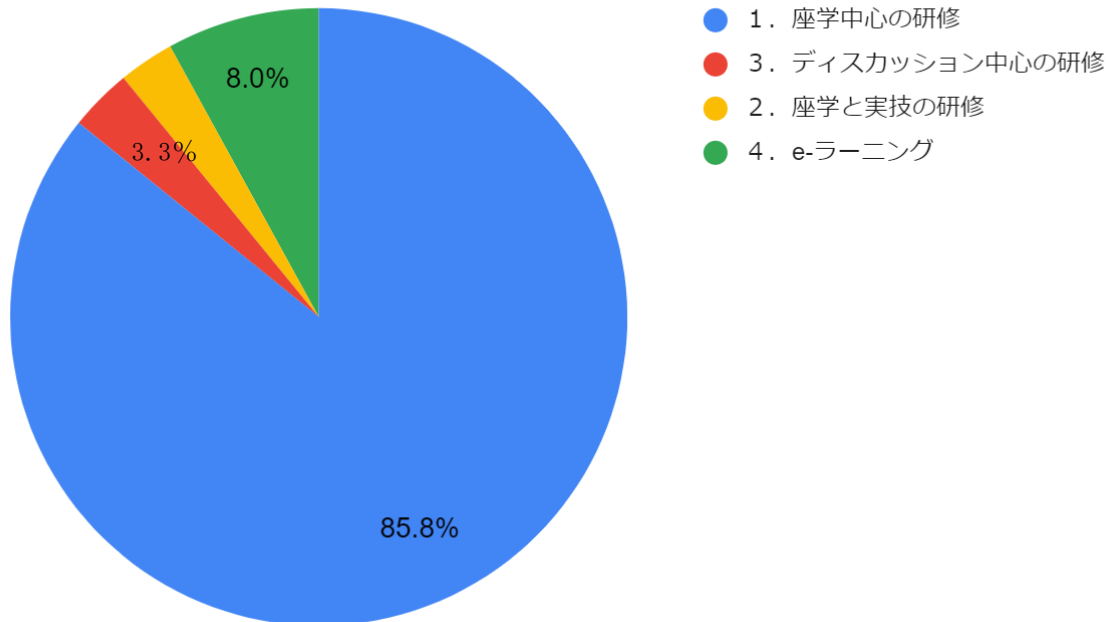
・「兵庫県理学療法士会からのメール 58.1%」、「日本理学療法士協会からのメール14.6%」、「日本理学療法士協会のホームページ 14.6%」などの順となっている。

⑥その主催は以下のどれでしたか 292件の回答



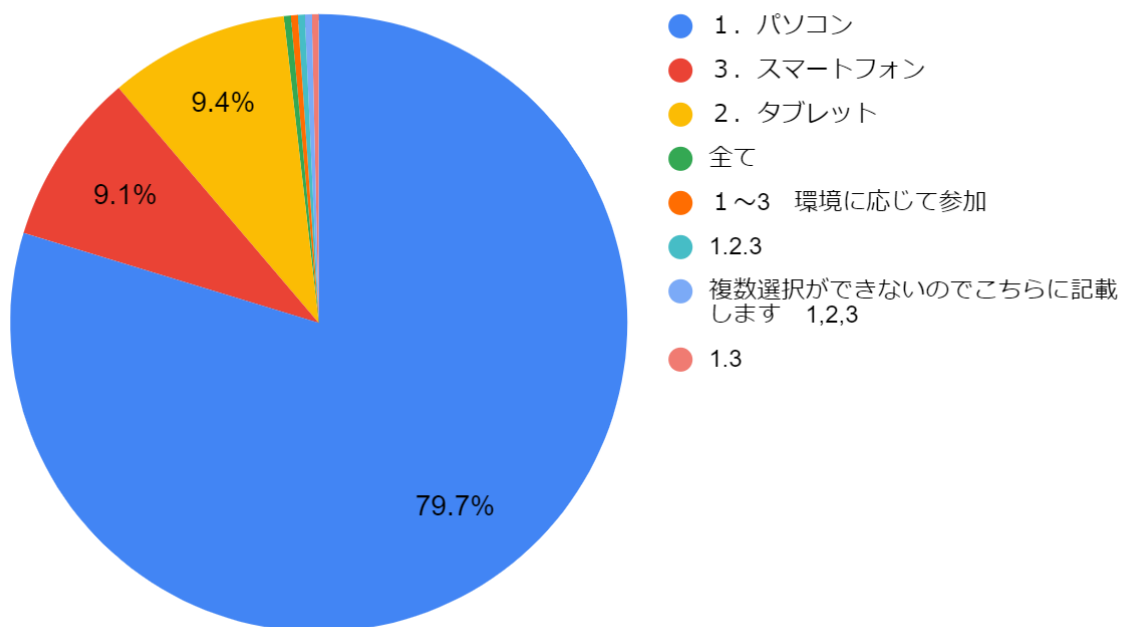
・「兵庫県理学療法士会 62.9%」、「日本理学療法士協会 26.1%」、「ほかの都道府県の理学療法士会 4.5%」などの順となっている。

⑦どんな種類の研修に参加されましたか 308件の回答



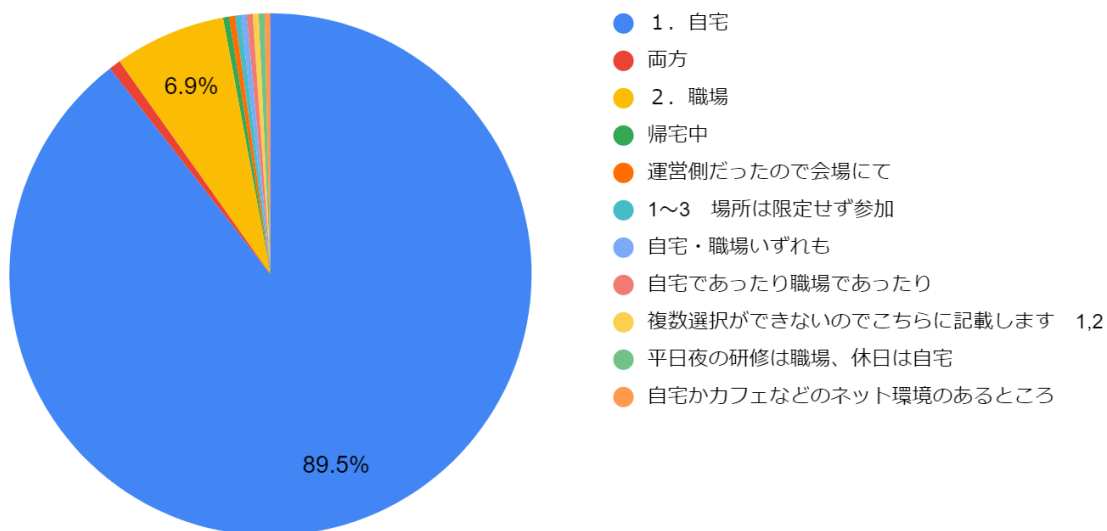
・「座学中心の研修 85.8%」、「e-ラーニング 8.0%」、「ディスカッション中心の研修 3.3%」などの順となっている

⑧どのデバイスで参加されましたか 276件の回答



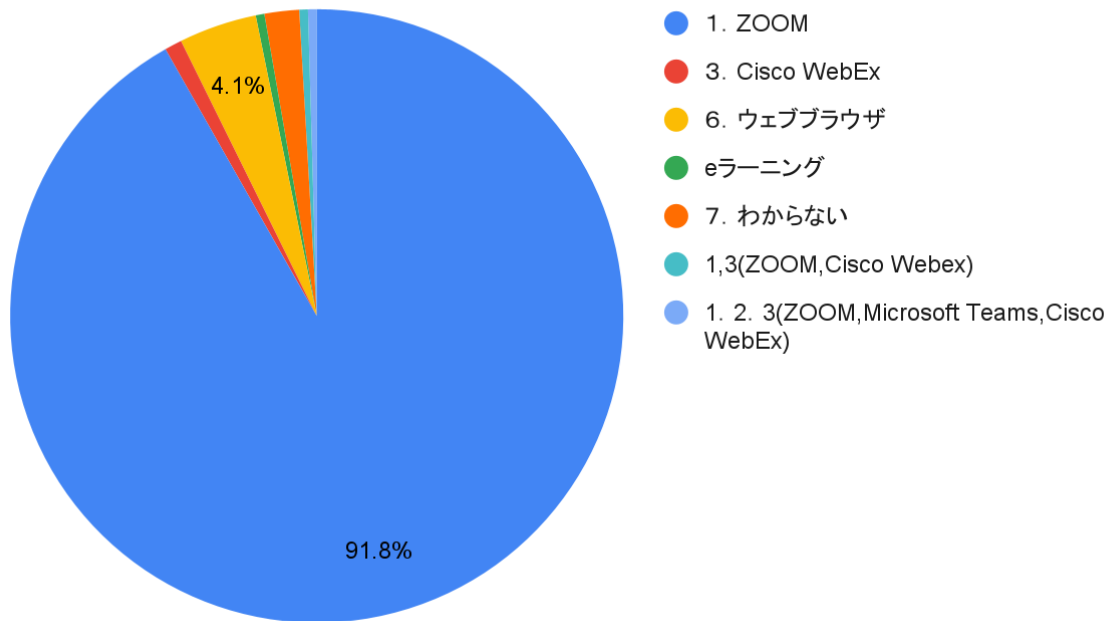
・「パソコン 79.7%」、「タブレット 9.4%」、「スマートフォン 9.1%」などの順となっている

⑨どこでオンライン研修に参加しましたか 275件の回答



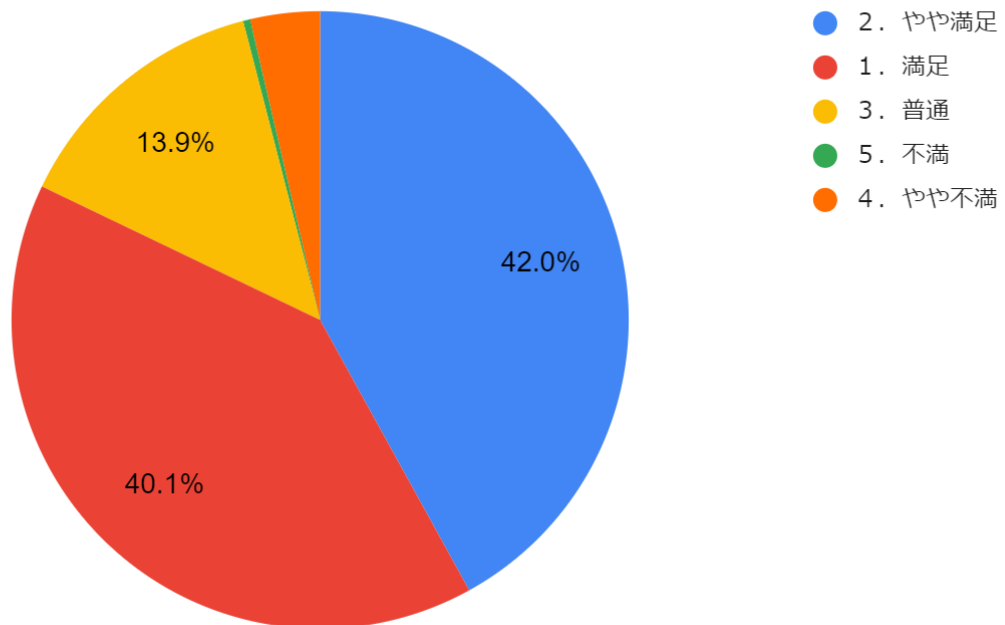
・「自宅 89.5%」、「職場 6.9%」、「両方 0.7%」の順となっていて
 ・平日では「19時以降」、土日祝日では「午前中」で高くなっている

⑪どのようなツールで参加されましたか 275件の回答



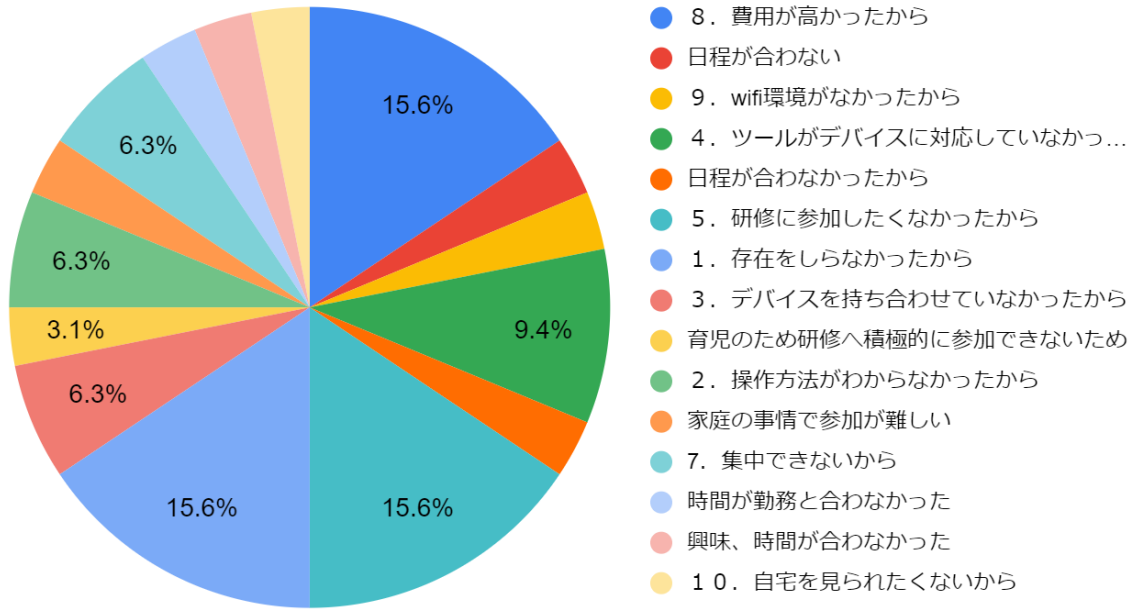
・「ZOOM 91.8%」、「ウェブブラウザ 4.1%」、「わからない 1.8%」などの順となっている

⑫オンライン研修に参加して、どの程度満足しましたか 274件の回答



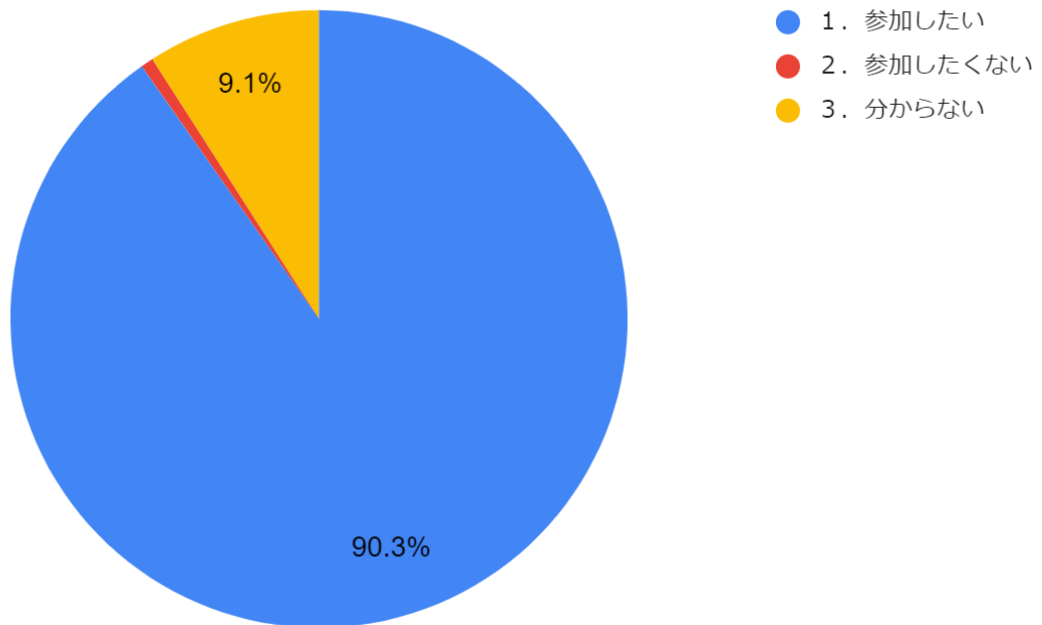
・「満足」とする者の割合が82.1%（「やや満足」42.0%、「満足」40.1%）、「普通」とする者の割合が13.9%、「不満」とする者の割合が4%（「不満」0.4%、「やや不満」3.6%）となっている。

⑬参加しなかった理由は 33件の回答



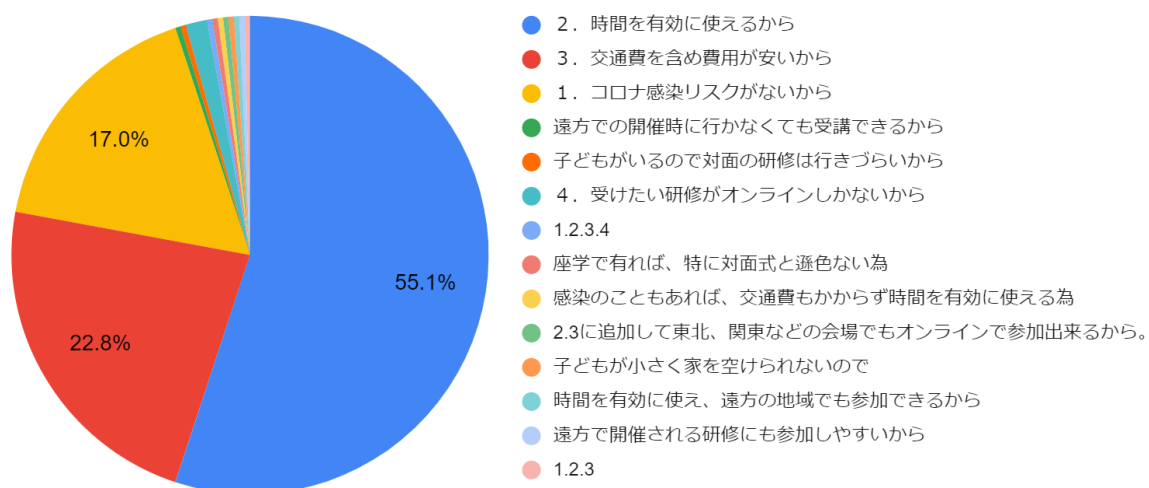
・「費用が高かったから」、「研修に参加したくなかったから」、「存在をしらなかったから」で15.6%、などとなっている

⑭今後もオンライン研修を参加したいと思いますか 309件の回答



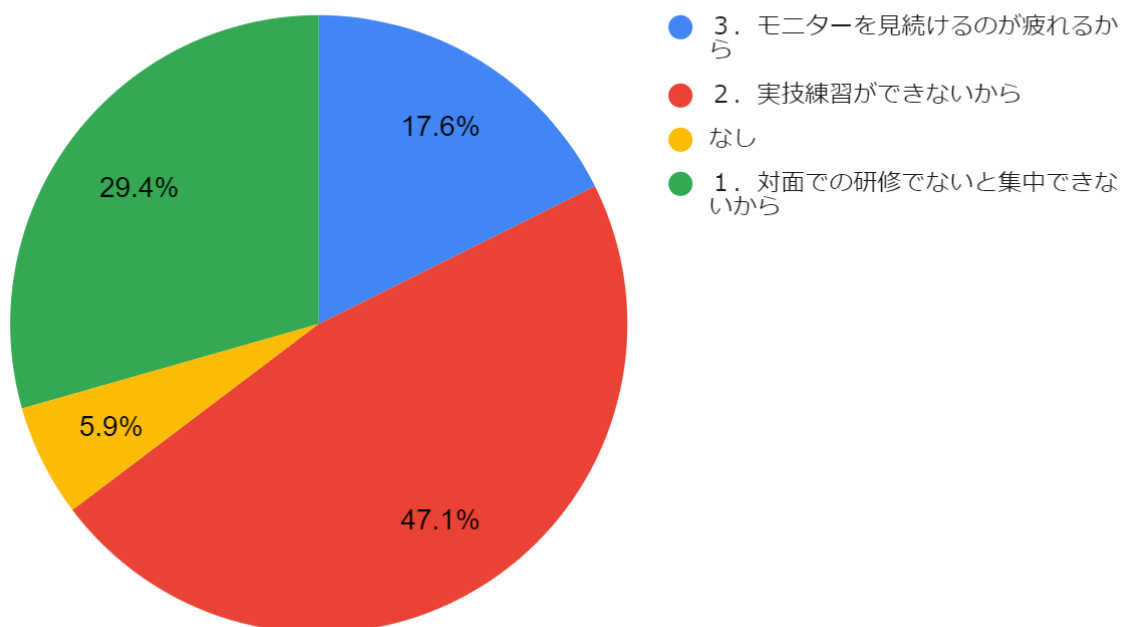
・「参加したい 90.3%」、「分からない 9.1%」、「参加したくない 0.6%」となっている

⑮参加したいと思う理由は 277件の回答



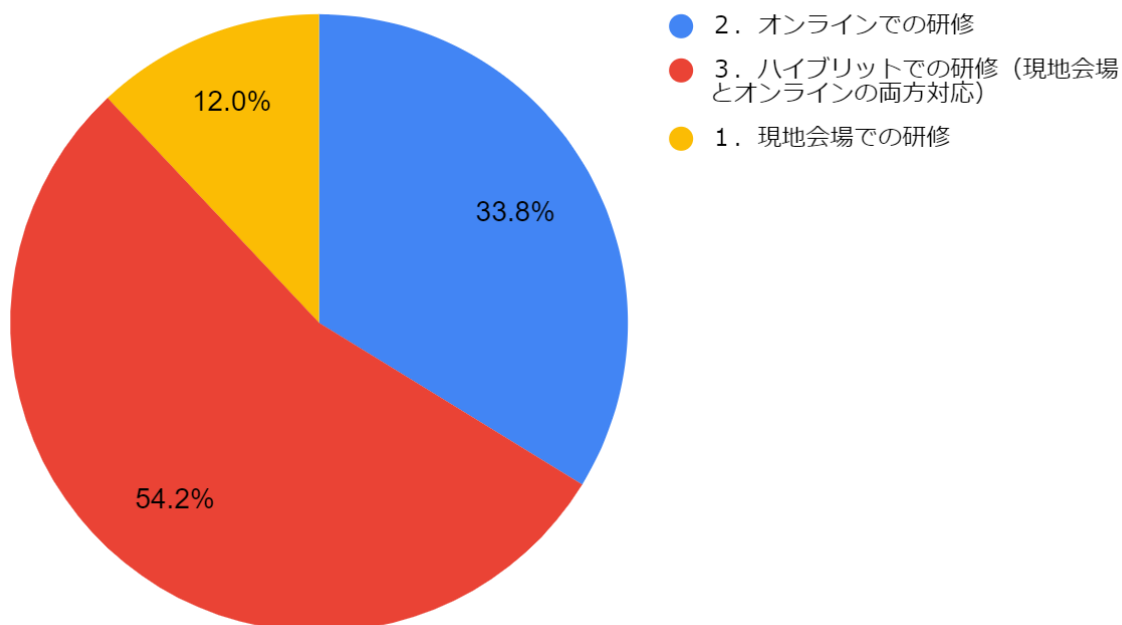
・「時間を有効に使えるから 55.1%」、「交通費を含め費用が安いから 22.8%」、「コロナ感染リスクがないから 17.0%」などの順となっている

⑯参加したくない理由は 17件の回答



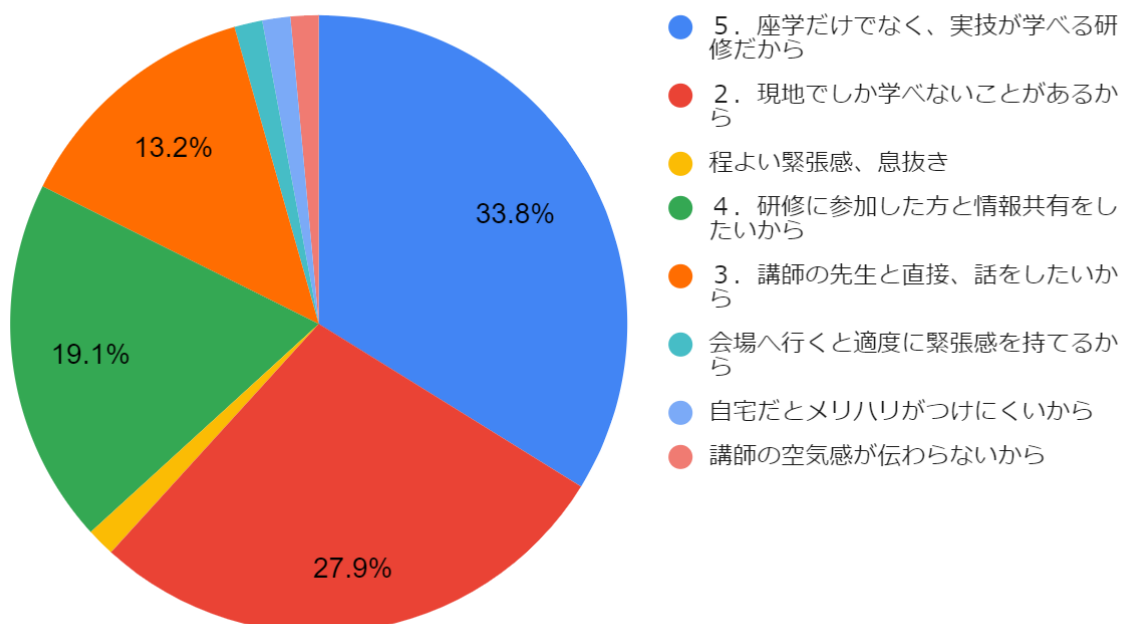
・「実技練習ができないから 47.1%」、「対面での研修でないと集中できないから 29.4%」、「モニターを見続けるのが疲れるから 17.6%」などの順となっている

⑰今後の研修について、どの方法で参加したいですか 308件の回答



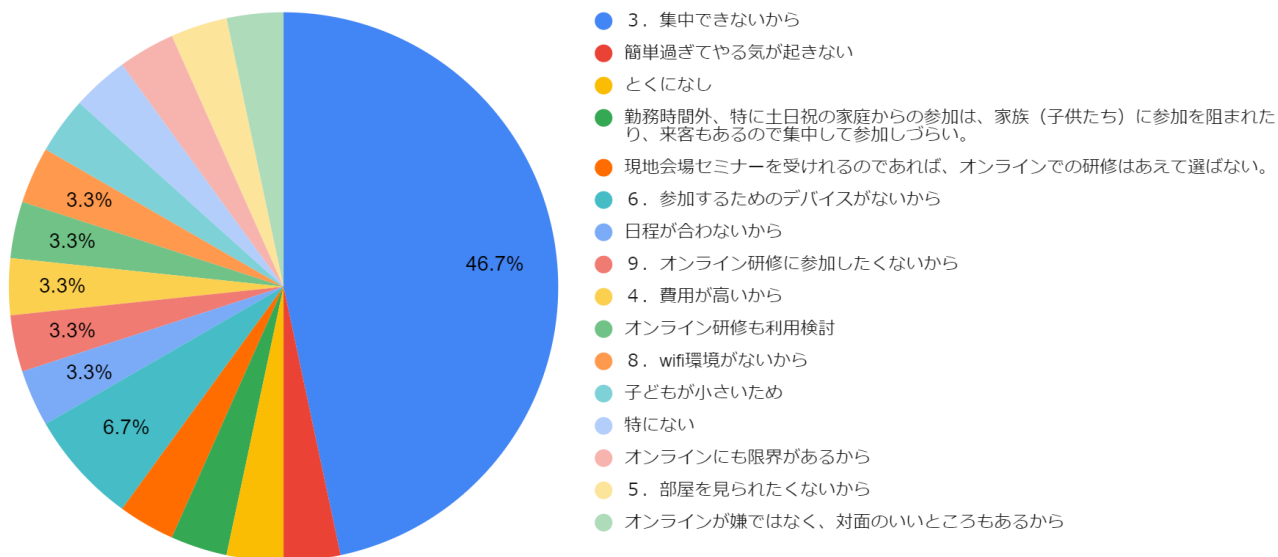
・「ハイブリッドでの研修 54.2%」、「オンラインでの研修 33.8%」、「現地会場での研修 12.0%」の順となっている

⑱現地会場で研修に参加したい理由は 68件の回答



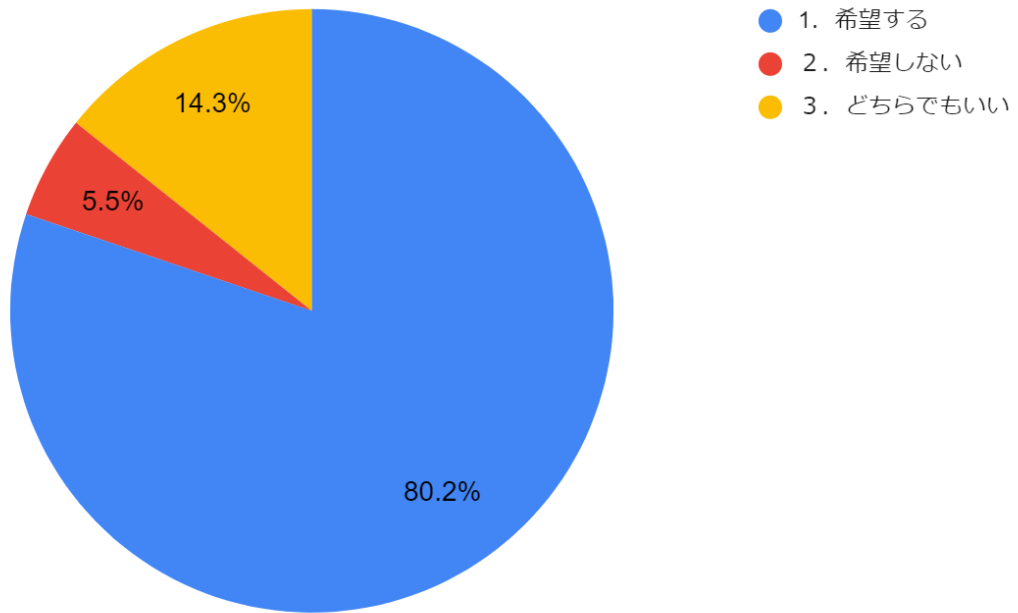
・「座学だけでなく、実技が学べる研修だから 33.8%」、「現地でしか学べないことがあるから 27.9%」、「研修に参加した方と情報共有をしたいから 19.1%」などの順となっている

⑩ オンライン研修を選択しなかった理由は 30件の回答



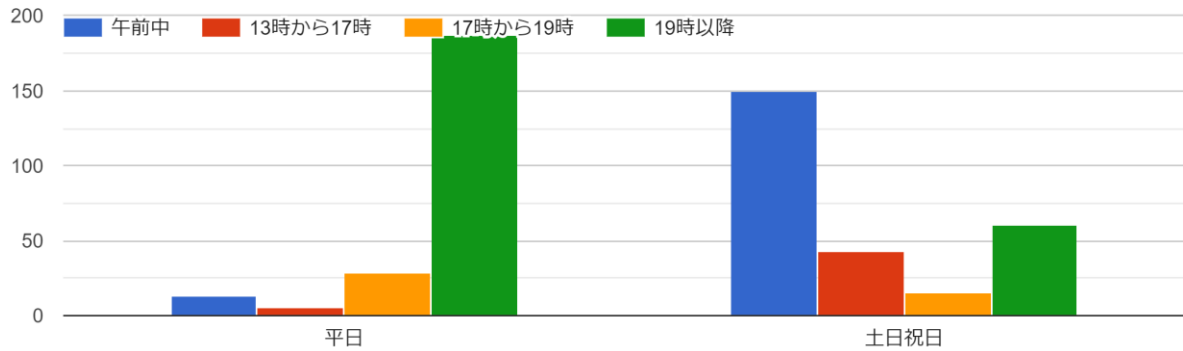
・「集中できないから 46.7%」、「参加するためのデバイスがないから 6.7%」などの順となっている

⑳新型コロナウイルスが収束しても、オンライン研修を希望しますか？ 308件の回答



・「希望する 80.2%」、「どちらでもいい 14.3%」、「希望しない 5.5%」となっている

㉑参加しやすい開始時刻は何時からですか



・平日では「19時以降」、土日祝日では「午前中」で高くなっている

②②オンライン研修に参加するにあたり、希望や改善点があれば、ご回答ください

(96 件の類似回答のうち、上位5つまで表記しています)

1. オンデマンド配信をしてほしい (18件)
 - a. 24時間、1週間など、一定期間の期限を決めて配信してほしい
 - b. 録画して、一定期間いつでも見れるようにしてほしい
 - c. オンデマンド配信があると、仕事で参加できなくても勉強ができてありがたいです
 - d. オンデマンド配信だと子育て世代はなお参加しやすいです
 - e. YouTube等で何時でも見れる、興味部分をピンポイントで見れる (ようにしてほしい)
2. 資料の配布をしてほしい (18件)
 - a. ダウンロード式で配布してほしい (パスワードをつけるなどして)
 - b. パワーポイントなどの資料の配布がされればいいと思います
 - c. 資料の事前配信配布がほしい
 - d. スライドなどのデータがあると復習しやすい
 - e. 資料等PDFがあると復習しやすい
3. 質問、ディスカッションしやすい研修 (6件)
 - a. 講師や参加者がディスカッションできる形式が増えてほしい
 - b. チャット機能を使って質疑応答の時間を増やしてほしい
 - c. 質問のしやすさ
 - d. カメラで顔を出した方が意見交換や研修に対する意識の向上につながる
4. 通信状況を安定させてほしい (6件)
 - a. 回線の安定と、不具合が起こらないようにしてほしい
 - b. 通信の安定
5. 研修時間が長い (6件)
 - a. もっと短い時間で、数回に分けて実施してほしい
 - b. 1人だと集中できない、午前中だけなど短時間で実施してほしい

②③オンライン研修で希望する研修内容について具体的に教えてください

(62件の回答)

- CT. MRI画像の見方について、オンライン研修で画面を見ながら教えてもらえるような研修を希望します。また在宅リハビリについての事例紹介などがあれば、参加したいと思います。
- オンラインは知識を広く収集する目的で参加しているので、解剖・生理などや各領域の基礎についての研修が開催されると嬉しい。
- オンライン研修を主催することも増えていますが、機器等のハード面の準備状況により環境が大きく変わります。受講側の立場からは、十分なハードとそれを使いこなすスキルを備えた環境下での研修体制を希望します。

- がんリハビリテーションやその他触診などの実技のオンライン研修
- キャリアデザイン、症例報告の仕方
- コロナ感染後の退院後のリハビリ。急性期から生活期のリハ職間で情報交換できればと思います。
- ディスカッション形式希望
- どの分野でも興味があれば参加したい
- ニューロリハビリテーション
- 運動学習
- 運動器 循環器 脳外
- 遠方の講師による講義
- 介護予防推進リーダーの導入研修を受けたい。臨床実習指導者講習を受けたい。その他、座学が中心の研修はこれからもオンラインで受けられると時間も有効活用できて嬉しい。
- 巻き戻しがしにくい。動画であれば、10～20秒だけ巻き戻せる機能があると、理解できなかった部分だけ再視聴できるので便利だと思う。
- 管理・運営・働き方改革、若手スタッフへの教育
- 管理者向けのマネジメント研修
- 管理職研修
- 基礎解剖など
- 急性期～在宅の呼吸、森岡周先生浅野大喜先生荒川高光先生木ノ本誠先生の講義
- 教育に関する研修
- 具体的な治療内容
- 具体的な物は特にありません。
- 呼吸リハビリテーション関連
- 呼吸リハビリについて
- 公衆衛生学、個人事業主として働くには
- 行動変容 コーチング
- 今のままで満足
- 今回の新型コロナ拡大に伴い、若手スタッフの研修への参加頻度が激減しており、モチベーションを保つのも難しい印象です（院内での研修も減少していますし…）。PTとして向上心・探求心が重要であることやPTという職種が社会的に厳しくなっている背景などを繰り返し会員に伝え、全体的なスキルアップや人材育成に力を入れていくべきであると感じます。これらの内容を若手スタッフや管理者も含めて実施していただけると助かります。（難しいテーマで申し訳ありません）
- 座学。見逃し配信有りのもの
- 座学中心であればオンラインでよいと思います。
- 座学中心であれば視聴期間をながく設定してほしい。
- 座学中心の解剖関係
- 最新の治療を含めた理学療法を展開。クスリを考えた理科療法。血液データの読み方。
- 最新の装具療法または治療機器の効果、有効性を学びたい
- 資料を配布することが前提で実施してほしい。

- 疾患や各部位の評価、治療の流れや考え方。または、解剖運動生理などの臨床に活かす座学。
- 質問機能を用いて参加者が考えるような時間を研修時間内に数回あると集中して視聴でき、より参加している感じになる。
- 実技
- 実技以外。座学、症例検討など。
- 小児や児童発達分野
- 症例検討会
- 障がい者スポーツ支援に関して
- 色々な分野の最先端な情報
- 神経難病についてや教育について
- 脊椎手術後や股関節・膝関節人工関節術後
- 装具、シーティング、運動制御、きちんとした業績を積んだ研究者の話
- 装具療法等
- 地域リハビリ
- 徒手理学療法
- 内部疾患、急性期医療での取り組みなど、
- 内部障害のリハについて
- 認知症の方のリハビリについて
- 脳血管疾患に対する理学療法の最新地検
- 脳血管障害の予後予測について、改めて勉強したい。
- 発達障害について
- 発達障害に対しての理学療法
- 訪問リハビリテーション関連の研修会を望みます。
- 訪問現場に必要なスキル、テーマを絞って話して欲しい
- 様々な分野に関わり、意見交換も含め幅広い研修を実施してほしい。
- 疼痛軽減手技、解剖学観点からのアプローチ

(資料調査部より)

今回のアンケート結果を通して、多くの会員の皆様が理学療法士協会や県士会のオンライン研修に参加していただいていること、90%以上の方が今後もオンライン研修に参加したいと希望されていることがわかりました。またオンライン研修に関する多くの希望を知ることができ、今後のオンライン研修開催に関する貴重な意見をいただくことができました。オンライン研修に参加される方だけでなく、開催される方にも今回の結果を参考にさせていただくと幸いです。改めて、今回のオンライン研修アンケートにご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。